

研究力可視化ツール講習会

InCites Benchmarking (提供: Clarivate Analytics)

よく言われるTop10%論文とは? どう探す?

~研究成果を客観的指標で可視化する方法~

Top10%論文をアピール材料に使いたいが、どこで探すのか?

外部研究者の採用、過去の研究成果を見たい

もう少しでTop10%に入る論文も見つけないか?

自身と同じ研究をしている他の機関・研究者は? その成果は?

…こんな疑問をお持ちの方、ぜひ講習会にご参加ください

論文被引用情報を分析することで様々な情報が得られます。
被引用数に基づく指標は、ご自身の**研究成果を客観的に把握**するだけでなく、業績のアピール材料に使われています。
InCites Benchmarkingで、簡単に**成果を可視化**し、その結果を活用する方法をご紹介します。



● 日時	2019年5月23日 (木)	情報メディア基盤センター
● 開催場所	14:40-16:10	マルチメディア教室
● 参加対象	豊橋技術科学大学に所属する教職員の皆様 ※教室のPCにログインするには大学発行のIDとPWが必要です	
● 申込締切	2019年 5月21日 (火) 15時まで 席に余裕があれば、当日参加も可能ですが、可能な限り下のQRコードから参加申し込みをお願いします	
● 概要	<ol style="list-style-type: none">1.論文による研究分析の必要性とデータの活用 なぜ被引用情報による分析が行われているのか? 論文情報から何がわかるのか?2.InCites Benchmarkingによる分析事例・実習 Top10%論文・もう少しでTop10%になる論文を探すのは? 自身と同じ研究をしている他機関・研究者の探し方3.トレーニングビデオ、活用例のお知らせ ※順序は入れ替わる可能性があります	